

演習 III

科目ナンパリング SEM-401

必修 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

冷戦終結後の世界は当初の予定と異なり、紛争が多発した不安定な時代となった。発展途上国や宗教・民族対立の激しい地域ばかりではなく、本来国際秩序の維持国であるはずのアメリカやヨーロッパでもトランプ政権、イギリスのEU離脱、ポピュリズムなど不安定要因は一層多くなり、グローバル化の中で世界の動搖は加速している。この演習は、国際関係論の教科書や基礎文献を読みながら、理論・歴史的視角から今日の国際政治の理解の仕方を学ぶ。共通知識として日本外交についても学習する。

2. 授業の到達目標

国際関係論の基礎文献を読了し、国際社会の現実を理解するための基本的な考え方を学習する。またいくつかのテーマについてグループを作つて共同で学習・発表することによって、レポートの作成・発表の能力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況、討論への参加、レポートの作成と発表に基づいて総合的に評価する。毎回の出席は最低限の義務である。

4. 教科書・参考文献

教科書

滝田賢治・大芝亮・都留康子 『国際関係学』 有信堂

5. 準備学修の内容

各回の報告者は、テキストの内容紹介・討論の論点、課題についてレジュメを準備してプレゼンテーションする。担当者以外の学生は、テキストの該当箇所を読み、予め質問や意見をまとめておくこと。

6. その他履修上の注意事項

毎回の出席と予習をきちんとすること。

7. 授業内容

【第1回】 導入：演習の課題、文献紹介、報告の仕方の指導

【第2回】 『国際関係学』の輪読、報告・討論

【第3回】 同上

【第4回】 同上

【第5回】 同上

【第6回】 同上

【第7回】 同上

【第8回】 同上

【第9回】 課題報告

【第10回】 同上

【第11回】 同上

【第12回】 同上

【第13回】 同上

【第14回】 同上

【第15回】 同上